

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居者様、一人一人が安心して生活をおくれるよう考え理念をつくりあげております。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>平成20年度より新たな理念を職員全員で話し合い掲げました。又、その理念を職員全員共有し取り組んで降ります。</p>	<p>○</p> <p>今年度、職員全員の話し合いによって、新たな理念を確立し職員全員で共有し日々、努力してまいります。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入居者様が馴染みのある地域の中で安心して暮らしていけるよう、ご家族の方へは入居時に説明し地域の方々には運営推進会議等を等知っていただけるよう取り組んでおります。</p>	<p>○</p> <p>今後も、理念の重要性を、ご家族や地域の方々知っていただけるよう呼びかけて行きます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>近隣の方と出会うと気軽に挨拶し合える関係ではあるが訪問しに来られることは少ない。当ホームは地域の活動には積極的参加しております。(桜祭り、文化祭、盆踊り、近隣のスーパーでの買い物)等。運営推進会議等を通じ地域の方々へ認知症に対する理解等は働きかけております。</p>	<p>○</p> <p>今年より、町内会費を支払い、所定の場所へゴミ捨てるを行うようになり、近隣の方々と気軽に挨拶や会話をすることが増えました。今後も地域との関わりを持てる場面を多くできるように支援したいと思っております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>現在まで、3度外部評価を実施しましたが、改善できている事もあります。今後改善しなければならない事も残されております。</p>	○	<p>サービスの質の向上を目指す為、できることから改善し利用者様が安心して暮らせるホームを目指していきたいと思っております。</p>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的(年6回)の運営推進会議を行っています。、ホームの取り組みについて報告し、評価して頂いた中から、地域につながるサービスの質の向上に向けて話し合いをしています。</p>	○	<p>今後も運営推進会議での貴重な意見をサービスに活かしたいと考えております。</p>
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは、運営推進会議、必要に応じて電話にて助言、ご指導いただき、時には窓口へ出向き直接ご指導いただく機会もありますし、互いに連携を図っております。</p>		
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>当ホームの法人で、年に何度か地域福祉権利擁護や成年後見制度について研修会に参加し、学んだ事を活用していきます。</p>		
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>当ホームでは虐待が絶対に発生しないよう、勉強会を設けています。スタッフ全員が注意を払い防止に努めております。</p>	○	<p>今後も定期的に勉強会を設けたり、入居者様のボディチェックを実施したいと思っております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項説明書等で十分説明し、疑問点などは口頭で説明し理解していただいてから契約しております。</p>	
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>生活の中で職員への要望、苦情等は受け入れできる体制が整っており、対応させていただきます。</p>	<p>○</p> <p>現在は職員間でカンファレンスを実施していますが、今後は利用者様と一緒に会議を行い繁栄させていきたいと思っております。</p>
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>個々の状態の変化等では、その都度報告しております。又、定期的に現金出納用紙を同封し送っております。</p>	
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の方々が面会に来られた際の意見等を、反映させる事を心掛けております。</p>	<p>○</p> <p>家族会、運営推進鍵等で苦情・要望を話せる場をつくり、より良いサービスを提供できるよう支援していきたくと思っております。</p>
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的な会議を実施し職員の意見や提案を出せる場を設け、できる限り反映しております。</p>	
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>月に1度会議やカンファレンス等を設けており職員の意見や提案を出せる場を設けられる限り反映しております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動は十分考え、入居者様へのダメージに配慮し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けております。</p>	○	<p>今後共、入居者様へのダメージを最小限に抑えられるように配慮してまいります。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>立場に応じた研修に参加し、ここで反映していけるよう施設内での勉強会などを実施し全職員が理解できるよう取り組んでいる。</p>	○	<p>定期的な勉強会を実施し質の向上を目指したいと思っております。</p>
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的ではないが、年に何度か他の事業者の方を招き、研修会等を実施しネットワーク作りを実施し、サービスの質の向上に努めております。</p>	○	<p>今後共、他事業所とのネットワークを大切にし、互いに助け合い質の向上を目指したいと思っております。</p>
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の思いに聞く耳をもち、仕事以外の場で気軽になんでも話し合える機会づくりを大切にしております。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者は職員の勤務姿勢報告書を運営者に報告し実績等を把握し向上心をもてるように努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方とは、利用者様に安心した生活を送っていただけるよう話し合い、本人についての悩みや相談を聞き共有し信頼関係築けるよう心がけております。	○	今後は家族会を再開するなど、ご家族の方と今以上に話す機会を持ち、入居者様を職員全員で支えていけるようにしたい。
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様とご家族の間に入り、より良い関係を築いていけるよう心がけております。	○	今後も、中立の立場に立ち、より良い関係を築いていけるように支援いたします。
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで生活されていた馴染みの方々に出会える地域の交流の場に出かけております。	○	現時点でも、馴染みの人や場所へ出掛けられる。入居者様は少ない状態ですが、一人ひとりの思いを大切に交流を深めて行きたいと思っております。
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う、合わない人を把握し利用者様が孤立しないよう集団レクリエーション等で(ゲーム・畑作業・野菜の皮むき)等を実施し利用者様が他者と交流を持てるよう努めております。		
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された方であっても町で会ったり、施設へ尋ねてこられる際は快く対応しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>自分の思いを伝える事ができる方と意思の疎通が難しい方がおりますが、常に本人の気持ちになり考える様、努めております。</p>	<p>○</p> <p>今後も一人ひとりの思いやご家族様の思いを大切に支援したいと考えております。</p>
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に、入居者様、ご家族様より生活歴の聞き、又他施設から入居の場合には担当のケアマネージャーより情報交換を行い把握しております。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活記録、業務日誌などに記入し全体的に把握できるよう努めております。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画を作成する際は、必ず本人、ご家族の希望を第一に考え、本人にとっての必要性など話し合い、計画に活かしております。</p>	<p>○</p> <p>今後はカンファレンス等にご家族も出席して頂き一緒に計画を立案できる場を設けるように努めたい思っております。</p>
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な介護計画はもちろんですが、状態の変化が生じた場合の見直しも実施しています。又対応できない場合には、担当者会議等で何度も検討し、ご家族にも相談し介護計画の作成に努めております。</p>	<p>○</p> <p>今後はカンファレンス等にご家族も出席して頂き一緒に計画を立案できる場を設けるように努めたい思っております。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日常生活状況などが記入されている生活記録などから本人の情報を共有し介護計画を見出しております。		
36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族様希望、状態の変化等に応じて同法人の各事業所の柔軟な活用の支援ができます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	学生の福祉体験の受け入れや消防・緊急訓練等にて交流を図っております。		
38	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	その時々々の入居者間の状況に応じた場所を最優先に考え支援しております。	○	今後は、他事業者と連携を図れるような関係づくりを、作って行きたいと思っております。
39	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じては意見をもとめるようにしております。	○	利用者様に関して必要がある場合は地域包括センターと連携を図っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当GHでは、利用者様・ご家族の希望する病院へ通院しており、必要があれば、ご家族の方も一緒に付き添い主治医とも連携を図り健康管理に努めております。		
41 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	西北中央病院(精神科)の専門医と連携を図り認知症の進行防止を図っております。		
42 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションの看護師と委託契約を結び医療連携体制の強化を図り健康管理を実施しております。		
43 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者様が入院した際でも、アフターケアとし定期的に面会へ行き、医療機関やご家族様から様子を聞き状態把握・情報交換を行い早期退院に向け連携を図っております。		
44 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、重度化された場合の対応等について説明を行っている。また、家族様とも状況等を話し合い本人様の状況・希望を考慮し最善を尽くす努力をしております。	○	今後は契約を結んでいただいた利用者様、ご家族の方と終末期について話しあい方針を共有していきたいと考えております。
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所内で対応できること・できないことを見極めを行い、本人様の状況を伝え家族様の要望を聞き今後の支援の方向性を検討している。また、必要に応じ医師との連絡調整を行い、医師・看護師の意見も聞きながら取り組んでおります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在まで何度か利用者様が他住居へ移り住むことはありましたが、移り住む住居のご家族や、担当職員等とは情報交換し、利用者様に環境の変化を最小限に抑えられるよう支援しております。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の記録や情報については、他者の目に付かないところに置くよう配慮しております。又、他者に聞かれたくないような会話の場面等は他者に聞かれない様支援しております。		
48 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定のできるような声かけ、場面作りに日々心がけております。		
49 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々それぞれの毎日の生活のペースに合わせサービスを提供しつつ職員の日常業務をこなしております。	○	今後も個々に合ったペースを守ることで安心した生活を送れるよう援助していきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	母体である老人保険施設にて理美容室は設けていますが、本人の希望に応じ、行きつけの理美容室へ行けるよう援助しております。又、服装なども以前から好まれている物を着ていただいております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と一緒に食事の下準備を行う事で、その出来上がった物を食べる喜びと楽しみを分かち合え、食後の片付けなどもそれぞれの入居者様の方々が協力しあって行っております。		
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している			
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	できる限りオムツは使用しない生活をおくれるように排泄チェックパターン表にて排泄頻度を把握し、トイレ誘導にて失敗する事を回避し気持ちよく排泄していただけるようケアしております。		
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は毎週(火・木・土)に設定しているが、希望がある方には、曜日を関係なく入浴して頂いております。		
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様一人一人の生活リズムを大切にする為、睡眠時間は個々に違います。夜遅く眠る方や、朝遅く起きる方がいますが、皆様の生活リズムを大切に支援しております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	当ホームでは、利用者様の生活歴や力を活かせるよう希望があれば、(自宅の畑作業・自宅の草取り・自宅の掃除)などホームに入居されていてもご本人の慣れ親しんだ自宅への帰省の援助を支援し楽しい生活して頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が可能な方は金銭を所持し外出等の際に使えるよう支援しています。		
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の突発的な本人の要望される場所への外出は難しいが、午後の集団レク時の際に個々に外出できるよう支援しております。	○	今後もホームで生活しながら、一人ひとりの希望にそって出かけられるように支援したいと思っております。
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	当ホームでは入居者の誕生日に可能な限り『本人の夢を叶えよう』という企画があり本人の希望する事や場所へ行けるよう支援しております。	○	意思の疎通の難しい方であっても、ご家族様より要望を聞き、入居者様に些細な事でも楽しみをもって生活できる様に支援してまいります。
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様よりご家族様や友人に電話や手紙の要望は少ないが希望される時は、支援しております。		
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族はもちろんですが、知人や友人等は気軽に面会に来られ際は思い思いに楽しい時間を過ごされていると思います。		
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームの職員は徹底し身体拘束を行わない様努めております。又、勉強会等で周知しております。	○	定期的な勉強会を継続し一人ひとりが理解し、サービス提供できる様、今後も努めてまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に鍵を掛けず圧迫感のないよう生活していただきたい思いはありますが、職員の手薄の時間帯や入居者様の状況によっては鍵を掛けざるを得ない状況もあります。	○	今後は、敷地内を入居者様が自由に行動できるスペースを確保する等状況に応じ検討していきたいと思っております。
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自室にて過す事が多い入居者様には、さりげなく職員が自室に訪室し、レク等の声がけをする事でプライバシーの配慮をしつつ様子を把握しております。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様の状態に合わせ、安全だと思われる物は所持していただいておりますが、危険と判断できる物はお預かりさせて頂いております。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の知識に関しては勉強会を通じ学んでおります。又、事故が発生した場合は事故防止会議を開催し再発しないよう努力しております。	○	一人一人の危険性を把握し、事故防止に努めて行きたい。
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフ全員に事故発生時の対応マニュアルを渡しており定期的な勉強会等で訓練を実施しております。		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、火災を想定とした避難訓練を実施し、消防署職員による消化器具の取り扱いについて指導して頂いております。	○	今後は、火災の想定だけではなく地震や夜間想定での訓練を実施していきます。又、運営推進会議にて地域の方々からの、ご協力も得られるよう働きかけていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時や面会時に現状で起こりうるリスクにお説明を行い、入居者様、ご家族様の要望・希望に沿った形で出来る範囲の対応を考慮・実施しております。	○	今後は、リスクが生じた場合においても、利用者様、ご家族と十分話し合い抑圧感を感じさせないケアへと繋げていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者様の身体的状況などをよく観察し変化等の早期発見に努め、状態を記録し速やかに看護師、主治医に相談し、早期対応に努めております。		
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人一人の生活記録に受診ごとに新しい処方内容を挟み、職員が把握できるよう努めております。		
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニューや水分摂取量に気を配り、毎日の乳製品の摂取、集団レク等で体を動かすよう支援しております。		
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食前後、口腔ケアを行っております。夕食後のイブニングケ時に義歯を使用されている方は義歯洗浄につけております。		
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士によるバランスのとれたメニューになっており毎食後、食事量・水分量を記録しております。又、主治医より指示のあった際には、カロリー調節を行い健康管理に努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各ユニットに感染症マニュアルを置き、いつでも見れるようになっておりマニュアルに従って実施しております。	○	感染の流行や季節によってしやすい物に対し早期の予防に努め感染に対する対策など徹底し周知したいと思っております。又、感染症の研修会などにも参加しています。
76	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食後、食器類は熱湯消毒しておりし、定期的にキッチン、食器等を消毒し衛生管理に努めております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	敷地内入り口には大きな看板を設置し、温かい感じになっており入居者様が自由に出入りできるようになっております。	○	ホーム玄関に飾り付け等を行い、地域の方々が安心して出入りできるよう努めていきたいと思っております。
78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の場において、TVの音量に配慮したり、四季折々の装飾品で季節感を採り入れております。		
79	共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間には、個々に過ごせるよう、ソファや椅子を置き、気の合った入居者様同士、近い席に座って思い思いに過ごされております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>80</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の使っておられた馴染みのある物を持ってきて頂き、入居者様が少しでも安心して過ごせるよう配慮しております。</p>	<p>○</p>	<p>今後も入居者様が少しでも居心地良く過ごして頂けるように、入居時に馴染みのある物を持って来て頂けるように説明してまいります。</p>
<p>81</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎朝、起床後に換気を行い、その日の天候や気温等、個々それぞれの快適な温度調節を実施しております。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>82</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の入居者様の状態に応じ安全に過して頂けるよう努力しております。</p>	<p>○</p>	<p>状況によって混乱が起きる事があるので、その原因を把握し対応を検討していきます</p>
<p>83</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状態に応じて、得意とする事を日課にして継続して頂いています。</p>		
<p>84</p> <p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ホームの周りの畑にて野菜・花作りをされ収穫を楽しまれています。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様が日々の生活の中で小さなことでも生き甲斐を見つけていただいております。たとえば、春には野菜の苗を植え収穫したものを調理し食べることで喜びを感じてもらっています。又、不安や悩みがある時職員が心の支えとなり不安を少しでもやわらげ、グループホームでの生活をおくっていただけるよう努力しています。